

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

やさしく
かしこく
たくましく

No.82

平成29年2月16日(木)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

先日、ある保護者の方から、この東小学校学校便り「東の風」に関して大変嬉しいご感想を頂きました。読んでくださる方がいらっしゃることで、そして直接、感想や反応をお聞きできることは大変励みになります。ありがとうございました。

せっかくの機会ですので、ここで今更ながらの年度当初にお伝えしていたと思いますが、



です!



この学校便り『東の風』は、本校のホームページでもご覧いただけます。

もちろんパソコンだけでなく、スマホをお持ちの方は、YAHOOやGoogle等の検索サイトで

①田平東小学校で検索

②田平東小のホームページの中の「学校便り」または「新着情報」に学校便りがあります。標題が第1号から月毎にズラッと並んでいますので見たい学校便りの標題(第0号)をクリックすると、スマホの画面ピッタリの大きさで、なんとカラーで見ることが出来ます。(もちろんお子様の写真なんかも拡大しても見ることが出来ます。)まだ見たことがない方は、よかったら一度、試しに見てみてください。

尚、紙印刷のカラー版は、学校以外では、学校前の東田平郵便局と田平町民センターにも掲示してあります。



ちょっとしたことですが・・・



あいさつはハッキリ!

東小の子ども達を毎日の学校生活の中で見ていると、こんなことがあります。

友達や先生方にちょっとした事をしてもらった時、**自然と丁寧に「ありがとうございます。」**と言える子がいます。そこには、その行為をしてくれた「相手に対する感謝の気持ち」があることがうかがえます。(感謝)感謝の気持ちをもただけではありません。相手に対して「礼儀正しくお礼を言い、自分の感謝の気持ちを言葉にして、分かるように伝える」こともできています。(礼儀・感謝)とても素晴らしいことだと思います。何気ない、そして、ちょっとしたことかもしれません。だからこそ、誰に指示されるでもなく、自分で考え、自分で判断し、当たり前のように自然にこんな行動ができる子どもに育てていることをとても嬉しく思います。

朝早くから登校し、中庭などで元気に遊んでいる子どもがいます。元気に遊ぶこと、それはもちろんよいこと。そこに、私や他の先生方が出勤してきたり、他の子ども達が登校して近づきます。その際に、**自分から元気いっぱい挨拶をしてくれる子がたくさんいます。**素晴らしいです。挨拶は、他者に心を開く第一歩です。朝一番から互いに気持ちよくなります。



一方、その中に、数名ですがこんな子ども達もいます。それは、**先生方や友達の姿や顔を見ても、いっさい挨拶をしようとしないう子。**こちらが大きな声で挨拶をしてさへも、挨拶しない子がいます。(具合が悪いわけではありません。元気に走り回って遊んでいるのですから。)

正直、「これは、何なのだろう?」と不思議に思います。残念です。再度、あるいは再々度、こちらから挨拶を繰り返すと、やっとしびしび小さな声が返ってきます。礼儀が身に付いていない。コミュニケーション力、社会性が育っていない・・・。本当に残念です。子ども達を健やかに育てることを担う立場として反省します。

子ども達に人との関わり方、社会生活を行う上での礼儀、モラルやマナー等、それらを幼い頃から子ども達に教え、学ばせ身に付けさせていくのは、家庭・学校・地域の私達大人の役割、大人の責任だと思っています。その子の心のシーソーが正しい判断の側に傾き行動できるように教える必要があります。そう思いませんか?

これまでもお伝えしてきましたが、長年積み重なる幼い頃からの日々のこんな小さなことの積み重ね。良いことの積み重ねもあれば、逆もあります。それが将来、その人の物事に対する考え方や行動の習慣や癖となり(マナーやモラルの面でもそれは顕著に表れますね)やがてその人を、その人の価値観や人格、生き方などを形作っていくのだと思っています。**自分の今の習慣や癖、姿は将来の習慣や癖、姿につながっているのです。**どんな大人になってほしいのか? 自分の子やふるさと田平の子に、上記の子ども達のどちらを望みますか? きっと思いや願いは同じなのではないでしょうか。ならば、私たちがやるべきことは・・・。

子ども達により良い習慣を日々、積み重ねさせていくことだと思っています。ご家庭でも意識してみてください。